



令和2年度 JA種子屋久 自己改革の取り組みについて

JA種子屋久では、農家・組合員の所得向上と生産拡大を図るために、様々な自己改革に取り組みました。重点的な取り組みについてご報告いたします。

～農業所得の増大・農業生産の拡大～

1

「サツマイモ基腐病」の対策を行いました。熊毛地区サツマイモ基腐病プロジェクトチームと協議を続け、今後も対策を講じていきます。



- ① 土壌改良資材「バイデルマ」(トリコデルマ菌)の試験圃場の設置による被害軽減対策
- ② 新品種「こないしん」の苗の供給
JA育苗センターより **210千本供給**
- ③ 基腐病対策支援資金の新設
実行件数 **66件** 実行額 **127,220千円**

2

～青色申告会による税務支援～
青色申告会において、会員数拡大を図るとともに記帳代行システムの活用により、組合員の経営内容の見える化に取り組みました。

【青色申告会業務実績】 (単位：人)

地区	会員数	前年比	申告支援人数	前年比	記帳代行人数	前年比
西之表	120	5	2	0	111	4
中種子	274	△1	2	0	212	△2
南種子	82	1	1	0	55	1

3

地域振興事業を活用し、中種子堆肥センターに新堆肥舎を建設しました。農業に必要な堆肥を常時供給できる状態とすることで、植付作業の遅れをなくします。また、農業生産の拡大や農家・組合員の所得向上を図ります。



生産量概要 (R2事業実績)

- さとうきび生産性向上支援事業
夏・秋植え **629 t**
- さとうきび生産性向上支援事業
春植え **1,027 t**
- 産地パワーアップ展示圃設置
春植え **100 t**

